

11.29Sat 12:00Start

高橋邸 ダイニング

高橋龍太郎生誕150周年を記念し、
「高橋邸ダイニング」を開催いたします。



高橋家に伝わる古記録
『君命録』に記された
“おもてなしの膳”

大洲藩主の殿様をもてなした際に出されたという献立を一部再現。
高橋邸で育った梅の実を使用したデザート、ドリンクをご用意しております。併せてお楽しみください。

場所

文化交流ヴィラ「高橋邸」

金額

6,000円（税込）/ワンドリンク込

定員20名程度（先着順）

※8月1日（金）より受付開始



料理長 久保和賢さん
神田 KANDA
内子町五十崎甲1311-2

※内子The文楽2025へ参加される皆様へ
お食事後、高昌寺までの送迎車を運行いたします。
ご希望の方は、どうぞお乗り合わせくださいませ。

【申し込み】内子座文楽公演実行委員会事務局 ☎0893-44-2114

（受付時間）平日8:30~17:00

高橋龍太郎翁



高橋龍太郎翁は、1875年（明治8年）7月に内子町で生まれる。内子聖人といわれた教育者としての父吉衡氏の訓育を受けた後、松山中学校・第三高等学校（現京都大学）に学び、大阪麦酒株式会社に入社。1898年から6年の間ビール醸造研究のためにドイツに留学。

帰国以来明治、大正、昭和の半世紀を国産ビール一筋に歩み、大日本麦酒株式会社（アサヒビールとサッポロビールの前身）社長に就任するなど、日本ビール業界の功労者である。

戦後は日独協会会長、日本商工会議所会頭など、経済界の巨頭として活躍し、第3次吉田内閣のときには通産大臣として、日本経済の復興に尽くすなど功績は多く、1964年に勲二等旭日重光章を受けた。

また、プロ野球球団「高橋ユニオンズ」のオーナーや日本サッカー協会会長を務めるなどスポーツ界にも貢献し、2005年には日本サッカー殿堂入りした。

高橋邸



「止談風月無用者可入」（ただ風月を談じるなら、用事がなくても屋敷に入りなさい）という墨書の看板が掲げられていたのが「高橋邸」である。

遠来の人と時を談じ、文化を語った人“高橋吉衡翁”の生家であり、“高橋龍太郎翁”を育てた屋敷。

「高橋邸」は、高橋龍太郎翁の長男である故・高橋吉隆氏（元アサヒビール株式会社会長）が、郷土である内子町への思いを寄せられていたことから、そのご遺族によって寄贈されたものである。

現在は、文化交流ヴィラ「高橋邸」として宿泊・喫茶などをはじめ、研修会や小会議、お茶・お華などの文化活動施設として活用。

令和6年3月に国の登録有形文化財に登録。



▲母屋（床の間）



▲母屋（洋間）

宿泊棟▶



【お問合せ】 内子町役場 町並・地域振興課 ☎0893-44-2118

（受付時間） 平日8：30～17：00